

3R瓦版（8月号）



© 2015 フジコ イトウ All Rights Reserved.

弊社の環境活動への取り組み

まず、私たちの会社について少しだけお話させてください。弊社はデパートや駅ビル、 SHIPPINGセンターといった商業施設で使用されているショーウィンドーやショーケースといったガラス製品の加工や取付をしている会社です。ブランドの関係で詳しくはここで書けませんが、欧州の高級宝飾品の店舗のショーケースを手掛けております。手加工という職人さんの技術を大切に次世代へつなごうとしている会社です。

さて、弊社では工場を抱えており、「工場はショールームだ！」なんて言って以前から5S活動を重視してきましたが、なかなか習慣とならず苦戦しておりました。

そんな中、昨年より社内に「環境整備プロジェクト」を立ち上げました。きっかけは経営者環境力大賞の先輩でもある埼玉県石坂産業株式会社様の取り組みをあるセミナーで拝聴して本気で取り組もうと決心しました。

年2回の工場内、オフィス内の赤札作戦（要るか、要らないか、はっきりしないものに赤い付箋をつけて1か所に集める）の実施、毎朝朝礼後に10分間の全社員清掃の実施をしてから1年たちました。

「環境整備」は会社の文化、社風をつくる仕事という位置づけで、永遠に継続していくものとして、「環境整備推進室」を設けて若手を中心にリーダーを決め活動しています。

この環境整備プロジェクトを通して、様々に変わってきたことがあります。継続は力なりと本当に感じる場合があります。

例えば、抵抗が多かったベテラン社員の掃除をすべき担当個所を決めると誰よりもきれいに掃除をしていました。全員で業務として必ず実施するということが本人の納得感があつたようです。

同じように社員教育の一貫として12年間会社の方向性を語る「事業発展計画発表会」を毎年毎年修正を加えながら継続してきました。

当初は社長である私一人が喋りまくっていましたが、最近は幹部以外に社員さんも発表する時間ができ、また一方的な話とにならないように、ひとつのセッションが終わると、振り返りを各自行い、自分の考えをまとめ、隣や前後の方々とシェアしてお互いの理解度を深めるということをしています。

これが思いのほか、方針に浸透にプラスに作用しています。

また、昨今では同じ大田区内で一緒に学んでいる同じ企業規模の会社の社長や役員の方も招待して一緒に学んでいっています。

こういう経験も積み重ねて地域の企業の経営にも貢献できるようにしてまいりたいと考えています。



株式会社 西尾硝子鏡工業所 代表取締役 西尾 智之

RepairFactory (有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel : 0774-66-6254